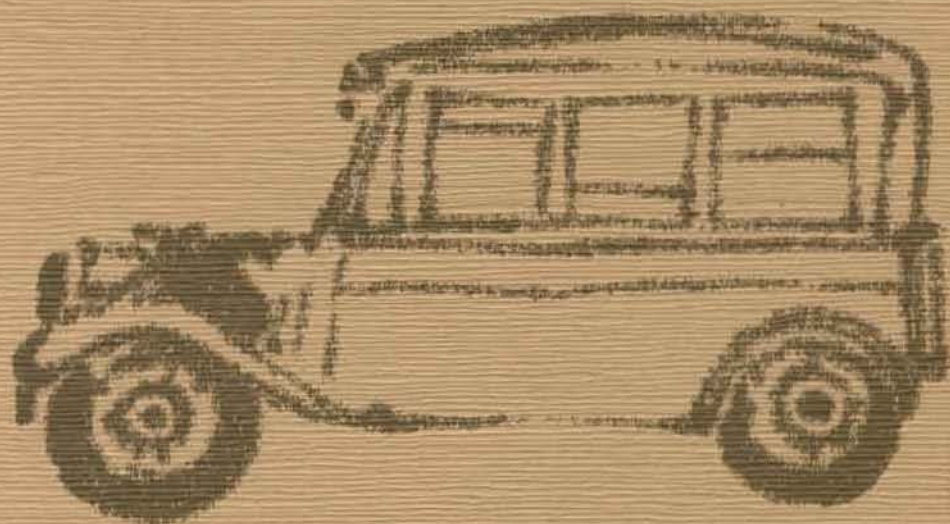


流星

記念特別号・部史



明 専・九州工大

責善会自動車部OB会

部 史

部史之研究，其目的在探討各部之歷史演進，及其與社會、政治、經濟、文化之關係。各部之歷史，往往與國家之興衰、民族之融合、宗教之傳播、藝術之發展，息息相關。故研究部史，實為研究中國歷史之重要基礎。

各部之歷史，可分為上古、中古、近古、近代、現代等時期。上古部史，多見於《史記》、《漢書》等史籍，記載各部之風俗、語言、服飾、飲食等。中古部史，則多見於《魏書》、《北齊書》、《周書》、《隋書》等史籍，記載各部之政治、經濟、文化之發展。近古部史，則多見於《宋史》、《元史》、《明史》等史籍，記載各部之社會、政治、經濟、文化之變遷。近代部史，則多見於《清史稿》、《清史》等史籍，記載各部之政治、經濟、文化之變遷。現代部史，則多見於《中華人民共和國史》、《中國現代史》等史籍，記載各部之政治、經濟、文化之變遷。

各部之歷史，往往與國家之興衰、民族之融合、宗教之傳播、藝術之發展，息息相關。故研究部史，實為研究中國歷史之重要基礎。各部之歷史，可分為上古、中古、近古、近代、現代等時期。上古部史，多見於《史記》、《漢書》等史籍，記載各部之風俗、語言、服飾、飲食等。中古部史，則多見於《魏書》、《北齊書》、《周書》、《隋書》等史籍，記載各部之政治、經濟、文化之發展。近古部史，則多見於《宋史》、《元史》、《明史》等史籍，記載各部之社會、政治、經濟、文化之變遷。近代部史，則多見於《清史稿》、《清史》等史籍，記載各部之政治、經濟、文化之變遷。現代部史，則多見於《中華人民共和國史》、《中國現代史》等史籍，記載各部之政治、經濟、文化之變遷。

はじめに

古い記憶、若いときの思い出などというものは時とともに次第にぼやけたり曖昧になったり、ときには虫食いの古書のようにところどころ欠落してしまったりする。そのなかで、まるでつい数日前のことのように鮮明に、強烈に記憶を再現することのできる部分がある。

このたび自動車部部史編纂にあたり多くの先輩はじめOBの方々にお目にかかり当時の思い出を語っていただいたが、自動車部在籍当時のことについてはとても数十年以上もまえのことは思えないほどよく覚えておられることにあらためて驚かされた。

昭和三十年前後の部室兼学習室は忘身寮の一角にあつて書棚には黒の背表紙の分厚い記録簿が置かれ、創部当時からのことがらがかなり細かく記載されていた。

先年その記録簿をまた見てみたいと思ひ現在の車庫兼部室に行つてみたが残念ながらすでに散逸して参考になるものはほとんどなかった。

本学が九十周年記念を迎えたということに触発されたこともあつたが、こうした記憶、記録が次第に薄れゆき、ついには昔を知る手がかりが皆無になりはしないかという危惧がこの自動車部部史編纂に手を染めた一つの動機でもある。

国道でも市街地以外は舗装されてなく、バンクや故障はごく当たりまえで、いったん構外に出たら、どんな故障にも対応できるだけの技術と経験がなければ単独運転が許されなかった時代の話が本編の中心になるため年代層によつてはいささか面白みに欠けるきらいはあるうが、願わくば自動車部の先輩たちが経験した苦勞の数々、とくにたつた五分ほどハンドルを握らせてもらいたければおに半日、一日を整備に費やした当時の汗と涙をご理解いただければ当部史の意図するところはおおむね達せられたと言えよう。

本編は自動車部が正式に責善会の一部となつた時期を特定することから始めたが取材の過程や



昭和29年1月 九工大上空 撮影 齊藤 OB(コ33)

各地の座談会などからさまざま事実やエピソードが明らかになり部史と言うよりはノンフィクションの冊子のようになってしまった。またその取捨選択も編集担当者のごだわりやかたよりがある点もご容赦願いたい。

この冊子編纂に当たり明専、九州工大の先輩各位、特に戦中機械科在籍の先輩、本学の関係者、明専会、自動車部部長経験教官、OB会幹部各位、各地のOB各位、現役の部員からの、特別ご寄稿、アンケート、手記など数々のご協力に対し心よりお礼申し上げます。

あわせて青春の大半を自動車部活動やその発展に費やしながらか惜しまれつつ亡くなられた先輩、先生方のご冥福を心からお祈り申し上げます。

編集者

部 史 目 次

表紙 題字 河村 先生
表紙イラスト 伊東 氏(電子44)

| | |
|------------------------------------------------------------|----|
| 巻頭言 特別寄稿1〔細川 学長〕 | 六 |
| 明治専門学校、九州工大、貴善会、自動車部 | 八 |
| 特別寄稿2 <small>特別寄稿の日本自動車産業の発展</small> 明専OBと黎明期の自動車産業〔伊藤 先輩〕 | 一八 |
| 特別寄稿3 自動車部の思い出〔新莊 教授〕 | 二六 |
| 創部、第二次大戦前夜〔報国団機甲班〕 | 二九 |
| 対談1 緑上卒業〔芳賀 先輩〕 | 三二 |
| ガス発生炉を知ってますか〔流星号の登場〕 | 三五 |
| 対談2 阻塞気球と芋のつる〔喜多村 OB会会長〕 | 四〇 |
| トラックは復員軍人とともに〔彗星号はこうして明専へ〕 | 四四 |
| 伝説の人今村 氏〔終戦前後の自動車部〕 | 四七 |
| 自動車部、我が青春〔その一〕 | 五〇 |
| 戦後も生きていた標語〔ガソリンの一滴は血の一滴〕 | 五六 |
| 粉炭入りパンの味〔食糧難と自動車部員〕 | 五九 |
| 整備とアルバイトに明け暮れたOB〔その一〕 | 六六 |
| 整備とアルバイトに明け暮れたOB〔その二〕 | 六九 |
| 特別寄稿4 なつかしい自動車部〔疋田 明専会会長〕 | 七七 |
| 自動車部、我が青春〔その二〕 | 七八 |

| | |
|------------------------------|-----|
| 整備とアルバイトに明け暮れたOB〔その三〕 | 八二 |
| 部員のささやかな楽しみI〔試運転と称するドライブ〕 | 八六 |
| 車検整備も部員みずから | 八八 |
| ゆめではなくなった九州一周〔臧満 先輩の活躍〕 | 九一 |
| 部員のささやかな楽しみ2〔クリスマスパーティー〕 | 九七 |
| 流星号の最後〔OBが集まった〕 | 一〇二 |
| 自動車部、我が青春〔その三〕 | 一一〇 |
| 部誌「流星」の創刊 | 一一四 |
| 自動車部は体育系だった〔競技会に勝つための特訓〕 | 一一九 |
| 自動車部と部長（顧問）教官 | 一二五 |
| 特別寄稿5 自動車部について〔大西 教授〕 | 一三一 |
| 記録に挑戦〔ラリー・フィギア・ダート〕 | 一三三 |
| 特別寄稿6 KITとの出会い〔ACK・徳尾三郎氏〕 | 一四二 |
| 部室・みやび | 一四五 |
| 各地でのOB会 | 一四七 |
| 特別寄稿7 自動車部の顧問になって〔西川 教授・現顧問〕 | 一六三 |
| 年譜 | 一六六 |
| 校歌、寮歌、応援歌など | 一七三 |
| 資料〔アンケート1〕〔アンケート2〕 | 一七六 |
| OB名簿 OB会役員一覧 OB会会則案 | 一七八 |